

2014 年度 電子情報通信学会 第一回 SWIM 専門委員会 議事録

開催日時：2014 年 5 月 23 日(金) 11 時 00 分～ 12 時 30 分

場所：機械振興会館 1 階 102 号室

進行：宇田川幹事（記）

出席者（敬称略）：

松本、片岡、宮西、堀米、増井、丸山、丹原、荻野、結城、宇田川

議事

1. 2014 年度専門委員会メンバー

- ・出席者全員の賛同により、丹原雅夫氏を専門委員とすることが承認された。
- ・2014 年度の専門委員会メンバーは下記の通り。

役職名称 氏名 (所属)

委員長 須栗裕樹 (宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科)
 副委員長 宇田川佳久 (東京工芸大学 工学部コンピュータ応用学科)
 幹事 荻野正 (沖縄高専 情報通信システム工学科)
 幹事 結城修(キヤノン株式会社 宇都宮事業所光学技術研究所計測システム開発室)
 幹事補佐 丸山文宏 (株式会社富士通研究所 R & D 戦略本部)
 幹事補佐 永吉実武 (早稲田大学 商学学術院総合研究所 WBS 研究センター)
 専門委員 堀米明 (株式会社フィジオ 経営戦略室長)
 専門委員 片岡 信弘 (元東海大学)
 専門委員 新川芳行 (龍谷大学 理工学部)
 専門委員 谷垣豪 (株式会社ビーオーピー)
 専門委員 宮西洋太郎 (株式会社アイエスイーエム)
 専門委員 林 章浩 (株式会社小野測器 管理本部 CMMI 担当)
 専門委員 松田順 (千代田ユーテック株式会社 千代田事業部長)
 専門委員 松本正雄 (ソリューション総研 主宰)
 専門委員 家田信吾 (日本電話施設株式会社 NGI ビジネス本部)
 専門委員 石野正彦 (文教大学 情報学部 情報社会学科)
 専門委員 増井久之 (元香川大学)
 専門委員 浅井邦之 (株式会社ビーオーピー 代表取締役)
 専門委員 岩田祐一 (日本電信電話株式会社 ロンドン駐在)
 専門委員 飯島正 (慶應義塾大学 理工学部管理工学科)
 専門委員 野地保 (元東海大学)
 専門委員 黒瀬晋 (NEC 流通・サービス業ソリューション開発本部)
 専門委員 丹原雅夫 (NTT アイティ)

2. 2014 年度各種委員

- ・各種委員は、以下の通りとすることを承認した。

業務	2014 年度	(2013 年度)	備考
会計	堀米	堀米	学会の仕事
ソサエティ誌委員	宇田川	宇田川	学会の仕事
FIT	丸山	野地	学会の仕事
総合大会	結城	黒瀬	学会の仕事
ホームページ	須栗、谷垣	須栗、谷垣	IEICE 上
メーリングリスト	須栗	須栗	IEICE 上
swim-news	片岡	片岡	Google 上
優秀論文表彰委員会委員長	委員長	委員長	表彰委員会 規定による
表彰委員会委員幹事	SWIM 幹事	SWIM 幹事	
表彰委員会委員	運営委員	運営委員	
査読委員長	新川	新川	
ICEIS の担当	須栗	須栗	
ISS 功労表彰	委員長マター	委員長マター	
学会事務局窓口	堀米	黒瀬	

3. 2014 年度行事予定と世話人

- ・行事予定と世話人は、以下の通りとすることを承認した。
- ・第 2 回研究会の正式な CFP を至急、作成し、関係者に報知する。
- ・第 3 回と第 4 回研究会のテーマを再検討する。担当は各世話人。

	日時	開催場所	世話人	CFP	プログラム締切	論文 件数	ページ 数予定	備考
第 1 回 研究会	5 月 23(金)	機械振興会館	結城	1 月 中旬	3 月 14 日(金)	5	30	IT 技術とインタープライズ
第 2 回研究 会	8 月 21(木)	龍谷大学	新川	5 月 初旬	6 月 20 日(金)	6	36	経営計画におけるインタープライズの役割
FIT 2014	9 月 3 日-5 日	筑波大学	丸山		査読論文受付 3/5-4/16 一般 4/23 -5/22			
CEATEC	10 月 7 日-11 日							2014 年度は、参加しない
第 3 回研究 会	11 月 29(土)	東京工芸大学	宇田川	8 月 初旬	9 月 19 日(金)	8	64	査読つき論文 ビジネスモデリングの 実装とインタープライズ (ワークショップ)
第 4 回研究 会	2 月 27(金)	機械振興会館	萩野 堀米	11 月 下旬	12 月 15 日(月)	8	50	ビジネス評価と信頼性 、 学生セッション
2015 総合	3/20 頃	未定	結城		未定			

4. 2014 年度専門委員会日程

- ・原則として、研究会の日に専門委員会を開催する。第 2 回専門委員会は、次年度の年度計画を作成するため、東京近郊で開催することとする。

	日時	開催場所	テーマ
第 1 回専門委員会	5 月 23 日(金)	機械振興会館	年度実行計画 FIT2014 フォロー
第 2 回専門委員会	9 月上旬	東京近郊	来年度計画、功労賞他 年度実行計画フォロー
第 3 回専門委員会	11 月 29 日(土)	東京工芸大学	2015 年度事業計画 2015 年度体制 総合大会フォロー
第 4 回専門委員会	2 月 27 日(金)	機械振興会館	論文賞選考委員会の立ち上げ 2015 年度新体制の提出

5. FIT2014 計画（現状報告）

- ・別紙の「FIT 2014 研究会提案イベント企画実行計画書」にて現状の報告があった（丸山委員）。
- ・講師は、浜屋氏（富士通研）で 30 分の講演に続き、須栗（委員長）＜司会＞、片岡（プロジェクト幹事）、児玉（情報処理学会 IS 研究会運営委員）が加わって、パネル討論を 90 分行う。

指摘事項：インタープライズとの関連が読み取れない。

対応策： 提出済みのため文面の変更は困難。パネルの当日、須栗委員長から、当該パネルとインタープライズとの関連性について説明いただく。

連絡事項：

- ・SWIM からは 3 件の申し込みがあり、査読中。30 日までに査読を完了する。
- ・一般講演の登録締切を 5 月 26 日(月)9:00 まで延長する。

6. 「ビジネスモデルを科学する」プロジェクト推進状況
- ・別紙の「ビジネスプロジェクトを科学するプロジェクト報告」にて現状の報告があった（片岡プロジェクト幹事）。
 - ・ステップ1から4までを設定し、活動している。現在は、ステップ1を完了し、ステップ2の検討を行っている。
 - ・プロジェクトは、2012年11月30日より、2年を区切りとして活動している。
 - ・成果物の著作権は、電子情報通信学会に委譲している。成果物は、下記のURLに公開しており、SWIMホームページから辿ることができる。
<http://b-model.jimdo.com/>
 - ・今後は、報告資料の著者として検討に関わったすべての方の氏名を付けて発表することとする。
7. SWIM 活性化施策
- ・11月のワークショップの活性化のための方策について、論文の質を上げる前に論文数を増やすことを考える時期である。PC(Program Committee)を決め、PCを中心にして投稿論文の増加を推進する。
 - ・SWIM-NEWSの利用を推進する。現状はCFPを流す程度であるが、新委員長の挨拶を流すなど、活用を推進する。SWIM-NEWSの登録者数は、メールアドレスの変更などにより、追加しないと減る運命にある。研究会ごとの新規参加者のメールアドレスを追加しているが、新規の参加者を増加させないと登録者数が減少して行く。
 - ・SWIM-HPの定款の改定について、インターネットをビジネスの活用するのは当たり前の時代となった。SWIM研究会の根幹を明記した定款を作成・公開する時期にある。今後、松本先生と片岡先生を中心としてたたき台を作り、専門委員会で検討する。
 - ・SWIMの年度計画を策定する際に、SWIM研究会の活動状況をvisibleにしたい。活動状況の指標は研究会の参加者数、発表件数、定期購読者数、テーマなどである。来年度の活動計画の作成では、これらの指標の年度ごとの推移も検討対象とする。なお、2014年度の計画は2013年度と同等とした。

以上